

議会だより



日本一の米めざして、今年もがんばるぞ！

七会中3年生による田植え

5月22日（木）、七会中学校で毎年恒例の3年生による田植えがありました。

表紙	1 P
予算否決・第1回定例会	2～3 P
予算特別委員会報告	4～5 P
第1回定例会で決まったこと	6～7 P
予算修正案否決・第2回臨時会	8～9 P
当初予算再否決で今後どうなる	10 P
審議した議案と各議員の賛否	11 P
一般質問 町政を問う	12～15 P
追跡調査・編集後記	16 P

全会計予算を否決

第1回定例会

否決した主な理由

- ・庁舎建設費（総額約24億円）が高額である。
- ・税金や使用料等の収納対策対応が認められない。
- ・七会診療所建設予定地について、町民の声が反映されていない。

否決した平成26年度予算案

会計名		予算額	前年度比
一般会計		116億4,000万円	30.1%増
国保	事業勘定	25億5,930万6千円	4.3%増
	施設勘定	2億4,613万2千円	0.5%増
後期高齢者医療		1億9,546万円	9.6%減
介護	保険事業勘定	17億3,740万8千円	2.8%増
	介護サービス事業勘定	417万2千円	2.6%増
公共下水道事業		11億1,624万4千円	1.7%減
農業集落排水事業		2億7,691万7千円	0.6%減
水道	収益的収入及び支出	7億7,991万4千円	3.6%増
	資本的収入	3億9,967万4千円	
	資本的支出	6億3,389万円	



否決した予算案について、臨時会で審議

第1回定例会で否決となった平成26年度一般会計・特別会計の全会計予算案については、指摘を受けた部分を修正して町長から再提出されたため、5月21日に第2回臨時会を開催し、審議した結果、**再度否決**しました。

修正内容、討論等については、**8ページ**をご覧ください。

第1回定例会は、4月22日から30日の会期で開催し、承認11件（うち平成25年度補正予算7件）・条例改正1件・平成26年度予算7件が上程されました。上程された議案のうち、平成26年度予算については、予算特別委員会へ付託し、常任委員会ごとに所管分を審議しました。その結果、平成26年度予算については、一般会計・特別会計の全会計予算案を否決し、その他の議案については原案どおり承認・可決しました。また、陳情1件・報告10件がありました。

平成26年度 一般会計予算・特別会計予算

賛成討論

根本 正典 議員

平成26年度予算は、先の城里町議会議員一般選挙のため、既に1カ月遅れている。団体への補助金等交付各種工事等の設計委託や発注、さらには国・県への補助金申請等々、これらの事務事業は予算の裏づけがあつて初めて執行できる。予算全体を否決するということは何もするなと言うに等しい。

例えば、ふれあいの船の

参加者募集や予約金の振り込みなどできない。予算の不成立が一番不利益をこうむるのは町民である。なぜ修正案を提出されるのか。不服とされる点について詳しく説明されないのか。

私たちが選挙公約としてきた政策に、予算という金銭面での裏づけを与えないということは、政策を現実のものとするための事務事業にストップをかけるということになる。

阿久津 則男 議員

一般会計予算は町民のために予算化されたものであり、これを否決することにより起こり得る影響は多大である。

庁舎建設については、庁舎建設検討委員会で決定し、進行している。

ふれあいの船については、昨年7月1日に内金770万円支払っており、5月6月に契約しなければ夏休み事業として執行できず、

楽しみにしている子供たちにも影響が出るはず。

安心子ども事業、保育所運営委託、児童手当、その他多くの支払いができない、あるいは遅滞してしまうおそれがある。町民に迷惑をかけることはできない。

町民のことを考えれば、1カ月遅れの本予算は当然今定例会において可決すべきである。

予算について議会ができるのは一部修正のみである。修正案を出してほしかった。

反対討論

藤咲 芙美子 議員

庁舎建設費が24億1千万円だが、これは当初の建設費から数億円の増である。次々と計画が変更されることによつて建設費が際限なく拡大されるのではないかと町民は懸念している。身の丈にあつた庁舎にするべきではないか。

介護保険制度の改定によつて、要支援者が制度から外され、負担増を強いる施策が取り込まれている。このような方針は容認でき

ない。

農業は本町の基幹産業であり、農業の再生は待ったなしと町長も述べたが、農林水産業費は前年度比マイナスである。商工費は大幅に減額されている。町民は、シャッターをおろす店が増えている現状に心を痛めると同時に、不便さも感じている。

以上のことから、本予算案は町民の願いと逆行していると言わざるをえない。

河原井 大介 議員

4点に絞つて討論する。
1 点目、多額の税滞納が発生しているが、現在の税務課内収納対策室を課に格上げし、税、使用料等の一元的な収納システムを構築すべきである。

2 点目、庁舎建設だが、当初16億と18億と説明を受けたが、総額24億になつている。過程において議会や町民に情報提供がなく、町民の意見要望が全く反映されてない。庁舎建設検討委員会議録の提供を求める。

3 点目、桂公民館改修工事に伴い桂支所を統合する(仮称)桂町民センター事業費1億3千万を計上しているが、地域住民の意見や利便性の確保等の情報提供が議会や町民に全くない。また、七会支所との整合性も全く説明されていない。

4 点目、診療所周辺工事3百万であるが、建設される診療所の内容、場所、情報が明確にされていない。建設過程における地域住民及び町民のニーズや意見が全く反映されていない。議論が極めて不十分。

予算特別委員会での主な 質疑・答弁

第1回定例会初日の4月22日、町長から提案された平成26年度城里町予算（7会計）について詳細に審査するため、予算特別委員会が設置されました。
 予算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の4月23日に委員会を開催し、平成26年度一般会計予算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の予算について審査しました。

（一般会計所管分）

歳入

問 ふるさと納税された方のメリットと昨年度の実績について。

答 町の特産品を送っています。25年度は22件で、98万2千円でした。

問 土地貸付収入について。

答 やまびこの郷150万円、サザンヤード50万円、水戸レイクス11万円、東電89万円、かつら保育所45万円です。

問 滞納繰越分の収入の根拠について。

答 町民税、軽自動車税、固定資産税とも、調定額の25%で予算を計上しております。

問 平成25年度末の滞納額について。

答 町民税7千3百万円、固定資産税1億3千6百万円、軽自動車税510万円の見込みです。

歳出

問 マル特（町単独事業）の対象人数は。

答 平成26年3月末現在で、小学校3年生までのマル福非該当者98人、4年生から6年生までの児童458人、中学生489人です。

問 デマンド交通利用状況について。

答 21年度16,318人、25年度13,554人の利用で、年々利用者が若干落ち込んでいます。

問 庁舎建設費、なぜこんなに上がったのか。

答 当初15億17億円だったが、床面積増により19億円に、さらに材料高騰で20億5千3百万円になり、

付帯工事含んで24億5千3百万円になりました。

問 地球温暖化防止対策補助について。

答 太陽光発電システム設置補助5万円とエコ給湯器設置補助3万円です。

問 仮称桂町民センターの構想について。

答 1つの建物に支所と公民館を入れる構想です。

（国民健康保険特別会計）

問 施設勘定、施設整備費の工事請負費と備品購入費の内容について。

答 七会歯科診療所わきの詰所の工事と土地の造成代等です。備品購入はレントゲン画像を患者に見せる機械です。

問 七会診療所の建設場所敷地が悪すぎる。場所についてもう一度検討はできないか。

答 診療所建設検討委員会に報告させていただく。

(介護保険特別会計)

問 介護認定に長い期間かかるようだが、なぜか。

答 医者からなかなか主治医意見書がでないの、遅くなるのかと思います。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の4月24日に委員会を開催し、平成26年度一般会計予算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の予算について審査しました。

(一般会計所管分)

歳入

問 いばらき学力向上サポートプラン事業の内容について。

答 学力向上をはかるために、夏休みに小学4・5年生を対象に算数を5日間実施します。

問 使用料等の過年度分の収納状況について。

答 学校給食費は平成26年3月末現在で約480万円。水道料金はお客様センターに依頼し、25年度は前年度比50%増。町営住宅使用料は住宅管理センターに依頼し、現年度分・過年度分ともに収納率は上がってきている。

問 合併浄化槽設置事業費補助金、町の補助分は。

答 5人槽29万4千円、7人槽34万2千円を国・県・町それぞれ3分の1ずつ補助しています。

歳出

問 ふれあいの里8人用キャビン浄化槽工事について。

答 浸透しなくなったので、8人用キャビン10棟分を集めて大きな浄化槽を設置する予定です。

問 住宅リフォーム補助について、

△補助について、工事内容の制限はあるのか。

答 壁紙の張替えも増改築に含まれるので対象です。10万円以上で町内の業者が行う工事に対する補助です。

問 将来的に各学校ともホロルの湯のプールを使うようになるのか。

答 3校がホロルの湯の休館日に使用しています。桂中学校は七会中学校閉校後はホロルの湯を使用することになります。全校ホロルの湯では対応しきれないと思います。

か。

問 生涯学習地区推進事業補助、実施地区と補助額は。

答 地区の交流を深める事業で、平成24年度は17地区、平成25年度は20地区実施しました。事業費の3分の1、7万円を限度として補助しています。

問 桂公民館改修工事、体育館は使用禁止なのか。

答 通常使用している団体には通知して、岩船公民館で鍵を借りてもらい、診療所側から出入りしてもらって使用できるようにします。

問 ふれあいの船事業、韓国船沈没事件の影響もあり、保護者の方は真剣に考えていると思う。非常時の訓練等、やっているのか。

答 問い合わせたところ、船員法に則って防火訓練・防水訓練・救助訓練等の強制訓練、その他に任意訓練など実施しているそうです。

(公共下水道事業特別会計)
問 未接続世帯解消推進事業、未接続の割合は。

答 30%が未接続です。

(水道事業会計)
問 町の有収率は。原因はどうみているのか。

答 町は79.3%、県平均は89%です。浄水場のメーターの老朽化や地下埋設なので震災による漏水が見つかりづらいのが原因ではないかと思えます。

問 水道再編事業、いつまでに完了するのか。

答 平成31年までに完了する予定です。



教育産業常任委員会の審議状況

決まったこと



ホロル君

※大樹スタジアムに住む伝説のフクロウ
性格はやさしく、特技は、スタジアムに
実をならせること。

承認

▽専決処分の承認を求めること
について（城里町水防協議会条
例の一部を改正する条例）

地域の自主性及び自立性を高め
るための改革の推進を図るための
関係法律の整備に関する法律が施
行され、引用条項の移動に伴い、
町条例中の関係文言を改正したも
のです。

▽専決処分の承認を求めること
について（城里町税条例等の一
部を改正する条例）

地方税法の一部が改正・施行さ
れ、地方法人税の創設に対応して、
法人税割の税率の引き下げ及び軽
自動車税の税率の引き上げに伴い、
関係文言を改正したものです。

▽専決処分の承認を求めること
について（城里町社会教育委員
に関する条例の一部を改正する
条例）

地域の自主性及び自立性を高め
るための改革の推進を図るための
関係法律の整備に関する法律が施
行され、社会教育委員の委嘱の基
準が追加されたことに伴い、町条
例中の関係文言を改正したもので
す。

▽専決処分の承認を求めること
について（城里町高田荘設置及
び管理に関する条例を廃止する
条例）

東日本大震災により被災し解体
したことに伴い、町条例を廃止し
たものです。

条例改正

▽城里町立学校設置条例の一部
を改正する条例

平成27年3月31日をもって城里
町立七会中学校が閉校になり、常
北中学校に統合することに伴い、
町条例の一部を改正したものです。

陳情

▽「労働者保護ルールの現行制
度の維持・改善を求める意見書
の採択」に関する陳情

採択

我が国は働くものの9割が雇用
関係のもとで働く雇用社会です。
安心して働くことができる環境を
整備することが、今後の日本経済
の更なる成長のために、最も重要と
考え、労働者保護ルールの現行制
度の維持・改善を要望する意見書
を国へ提出しました。

第1回定例会で決

平成25年度補正予算

一般会計

追加補正 1億1,191万8千円

総額 96億3,406万円に

歳入の主なもの

地方交付税	1億8,150万4千円
県支出金	△3,470万5千円
繰入金	△5,288万8千円
町債	△2,490万円

歳出の主なもの

総務費	5億4,063万4千円
民生費	△1億5,176万2千円
衛生費	△3,196万9千円
農林水産業費	△2,130万8千円
土木費	△4,321万9千円
教育費	△8,406万7千円
公債費	△8,014万9千円

特別会計（6事業特別会計）

会計名		補正額	補正後の額
国保	事業勘定	△6,510万8千円	24億8,698万4千円
	施設勘定	△1,184万円	2億4,892万3千円
後期高齢者医療		△3,401万1千円	1億8,228万4千円
介護	保険事業勘定	△2,590万7千円	17億6,330万7千円
	介護サービス事業勘定	95万1千円	501万8千円
公共下水道事業		△8,557万8千円	10億8,185万4千円
農業集落排水事業		△352万9千円	3億1,321万6千円
水道	収益的収入及び支出	△2,079万円	6億1,110万3千円
	資本的収入	△43万9千円	4億4,650万7千円
	資本的支出	△1,080万3千円	6億6,916万5千円

修正案も否決

否決した主な理由

- ・庁舎建設に伴う備品購入費の減額について、その根拠があいまいである。
- ・前回求めていた資料提供が会議前日であり、執行部からの説明もない状況では、予算の精査ができない。

再否決された平成26年度予算修正案

会計名	予算額	修正額
一般会計	116億2,800万円	△1,200万円
国保 施設勘定	2億4,313万2千円	△300万円

※残りの5特別会計予算案は、前回と同額。

修正箇所（歳出）

一般会計予算

- ・庁舎建設費（事務用備品購入）
1億3,824万円 ⇒ **1億2,960万円**
- ・国民健康保険特別会計予算（施設勘定）繰出金
7,262万7千円 ⇒ **6,962万7千円**
- ・地方債償還金利子
1億5,261万5千円 ⇒ **1億5,225万5千円**

国民健康保険特別会計予算（施設勘定）

- ・七会診療所周辺整備工事
300万円 ⇒ **0円**

第2回臨時会

第2回臨時会は、第1回定例会で否決した平成26年度全会計予算案のうち、一般会計・国民健康保険特別会計（施設勘定）は減額修正し、残りの5特別会計は前回と同額の予算案が町長から提出されたため、5月21日に開催しました。

当初予算7件の議案を審議し、すべて再び否決しました。

平成26年度 全会計予算

反対討論

藤咲 芙美子 議員

私は、中学生までの医療費助成や、小学生のふれあいの船事業に反対はしない。住宅リフォーム助成制度も積極的に応援したい。

また、七会診療所の建替えについても、この地域に診療所は必要だとの立場から、今後自分なりの提案していくつもりである。

しかし、庁舎建設問題では、次々と計画が変更されることよって予算が膨張し、当初より数億円増の血税が注ぎ込まれようとしていることに賛成できない。町は少ない財源を、町民のため有効に使うことにもっと真剣であるべきだ。備品購入費の減額も、その根拠があいまいで、なぜ最初から減額した金額に仕上がったのか。

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画は、介護保険制度から要支援者を外す計画であり、「介護難民」をつくる危惧があり、同意できない。

賛成討論

桐原 健一 議員

本案は先の定例会で否決となったものの執行部修正案である。しかしながら、反対の方々からは具体的な反対の理由や修正すべき点についての説明がほとんどされていない。きちんと修正案を提出し、数字をもつて自分たちの考え方を説明すべき。

すでに予算の不成立により、予定されていた「区長会総会」が開催できない等、いくつかの問題が発生している。内容においてもこの予算案を不可とするような特段の問題はない。

この予算案は、今年度の当初予算案であり、これが成立しなければ一歩も先へは進めない。すでに成立させるべきタイミングは大きく遅れており、一刻も早く成立させるべき。

一番迷惑をこうむるのは町民である。

各種の事務事業は、予算の裏付けがあつて初めて実行できるものである。

小林 祥宏 議員

城里町は平成17年2月に1町2村が合併し、10年目に入った。

その間、町長をはじめ、町執行部と議会が、共に議論を重ねて活力と潤いのあるまちづくりを目指してきた。

しかし、先般の第1回議会定例会において、一般会計及び特別会計並びに企業会計の予算案である7議案がすべて否決となり、非常に残念な結果となった。

前回否決となった予算の一部を修正し上程された今回の予算案は、福祉の向上、教育の充実、産業の振興、社会資本の整備等を勘案した予算である。

城里町民は無論のこと、事業にかかわる関係者、そして各種団体等は、1日も早く予算が可決されることを、待ち望んでいることと思う。

このようなことから、賛成討論とする。

阿久津 則男 議員

国民には納税の義務があるが、滞納情報の提供は、地方公務員法、地方税法の規定により資料提供はできない。

庁舎建設については、耐震構造から免震構造に変更、床面積の増、資材費や人件費の高騰により増額になったが、議会の議決を得、地鎮祭には議員も参加し、工事が着工した。このような状態となると損害賠償が発生する恐れがある。町の負担は3割程度、7〜8億円である。復旧復興のためにも年度内に完成してもらいたい。

桂公民館を改修し、そこに支所機能を併設する仮称桂町民センター建設は、安価で、地元町民にも利便性があると思う。

修正案も出さず、7会計全てを否決するのは暴挙であり、これこそが町民不在の否決である。町民のことを考えれば、修正案を提出することが議員の任務だと考える。

当初予算再否決で

平成26年度当初予算案を再度否決したことにより、今後の流れは次のようになります。

平成26年度一般会計 暫定補正予算(専決処分)

特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから、町長は平成26年5月22日付で専決処分(※1)により次の事業のみ一般会計暫定予算(※2)に追加補正しました。

児童手当

1,806万円

ふれあいの船事業補助

1,136万2千円

平成26年度一般会計 特別会計予算修正案再提出

再度指摘を受けた部分や、6月定例会で補正を予定していたもので緊急を要する部分を追加修正し、町長から予算修正案が再提出されました。

今後どうなる？

第2回定例会で審議

6月定例会で、「平成26年度一般会計暫定補正予算」、「平成26年度一般会計・特別会計予算修正案」について、審議しました。

審議結果については、「議会、だより第39号」をご覧ください。

※1 専決処分

議会が議決をしなければならぬ条例・予算などについて、議会を招集する時間的余裕がない緊急の場合などに、長が議会の議決を待たずに処理を行う手続き。次の議会に報告して承認を求められます。ただし、議会の承認が得られなかったとしても、専決処分の効力に影響はありません。

※2 暫定予算

通常予算が何らかの理由により成立しない場合などに、一般会計年度の一定期間について最小限度必要とされる経費を計上したもので、城里町では第1回臨時会で平成26年4月から6月までの暫定予算を可決しております。

議会を傍聴してみましよう！

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があっただのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。

傍聴者報告

第1回定例会(4月22日～30日まで開催)	36人
第2回臨時会(5月21日開催)	30人

次回の定例会は、**9月2日**からの予定です

(コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定)

傍聴希望当日、コミュニティセンター城里1階の管理事務室で受付簿に住所・氏名等を記入後、先着順で傍聴券を交付します。**定員は30人**です。

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111(内線 300)

審議した議案と各議員の賛否

第1回定例会・第2回臨時会の議案等の表決を、賛成は○、反対を×で表示してあります。

議案名	藤咲美生子	片岡藏之	園部一	余水紀夫	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坪孝
専決処分（城里町水防協議会条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	○
専決処分（城里町税条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（城里町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（城里町高田荘設置及び管理に関する条例を廃止する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町一般会計補正予算）	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町国民健康保険特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町後期高齢者医療特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町介護保険特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町農業集落排水事業特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
専決処分（平成25年度城里町水道事業会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
城里町立学校設置条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○
平成26年度城里町一般会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町国民健康保険特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町後期高齢者医療特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町介護保険特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町公共下水道事業特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町農業集落排水事業特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町水道事業会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町一般会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町国民健康保険特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町後期高齢者医療特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町介護保険特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町公共下水道事業特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町農業集落排水事業特別会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×
平成26年度城里町水道事業会計予算	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×		×	○	×

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

桐原健一議員…………… 13P

- ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の助成について
- ・子育て支援について
- ・舟渡団地跡地について

三村孝信議員…………… 14P

- ・平成26年度町長の施政方針について
- ・城里町一般選挙における投票率の低下傾向について

藤咲芙美子議員…………… 15P

- ・子どもの内部被曝検査について
- ・健康診査の拡充について
- ・防災無線について
- ・七会診療所について



桐原 健一 議員

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の助成について

〈町長〉 予防接種法の見直しにより、本年10月から成人用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種になる予定である。

桐原 2012年人口動態統計で、肺炎は日本人の死亡原因の第3位と上昇傾向にあり、特に75歳以上では死亡率が増加するため、早期予防が大事であると言われていて、本町において、65歳以上を対象とした成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成制度を導入してはどうか。

町長 国において予防接種法の見直しが行われており、本年10月ごろまでに成人用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に加える方針を固めた。成人用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種になれば実施するようになるので、もう少しの間お待ちいただきたい。

桐原 県内ではこの市町村が実施し

ているか。

町長 44市町村中36市町村で実施しており、半額程度の補助が大半である。

町長 本年10月からのマル福拡充に伴い、次世代育成に向けた枠の拡充の必要性等を考慮し、前向きに検討してまいりたい。

桐原 本町では中学3年生までの医療費助成を実施しているが、さらに18歳まで医療費助成を引き上げてはどうか。

町長 県において、本年10月から、小学3年生までだった医療費助成制度（マル福制度）の対象者を、入院・外来を小学校6年生までに、入院のみ中学生までに拡充することになっており、本町においても、近隣市町村の動向や財政状況等を踏まえた中で、前向きに検討してまいりたい。

子育て支援について



舟渡団地跡地について

〈町長〉 宅地分譲の方向で進め、本年度中には結果を出していかなければならない。

桐原 宅地分譲の中にはある集会所をどうにかという質問を以前もしているが、その後どのような跡地の活用を進めているのか。

町長 宅地分譲の方向で進める考えは変わっていない。跡地の中にはある集会所をどうにかという質問を以前もしているが、その後どのような跡地の活用を進めているのか。

の中間にある集会所を利用して下坏区意向を尊重しながら調整を図り、本年度中には宅地分譲を条件に売却するとか、いずれにしても結果を出していかねばならない。



「舟渡団地跡地」

平成26年度町長の施政方針について



みおら 三村 孝信 議員

〈町長〉(仮称)桂町民センターは、桂公民館を改修し公民館と支所機能を一体化、太陽光発電誘致は本格的に事業推進に取り組んでまいりたい。



「本庁舎建設工事の状況」

三村 本庁舎建設の進捗状況と(仮称)桂町民センター建設について伺う。

町長 平成26年3月末までの本庁舎建設の進捗状況は全体の14%で、工程表のとおり進行している。(仮称)桂町民センターは、桂公民館を改修し、桂図書館2階の桂支所を移す予定だ。公民館と支所機能を一体化したものとす。

三村 太陽光発電の誘致について進捗状況を伺う。

町長 上野地内の公園墓地計画跡地約40ヘクタール、の町有地を売却する方向でいる。また、小勝地内のやまびこの郷グラウンド跡地2ヘクタールと北方地内の桂保育所跡地0.3ヘクタールは、事業者に町有地を貸し付けるかたちで進めている。町有地の有効活用や新たな雇用が見込まれ、遊休地の貸し付けによる借地料や固定資産税、遊休地の処分に



「3階建ての入院棟」

三村 太陽光発電の誘致について進捗状況を伺う。

町長 上野地内の公園墓地計画跡地約40ヘクタール、の町有地を売却する方向でいる。また、小勝地内のやまびこの郷グラウンド跡地2ヘクタールと北方地内の桂保育所跡地0.3ヘクタールは、事業者に町有地を貸し付けるかたちで進めている。町有地の有効活用や新たな雇用が見込まれ、遊休地の貸し付けによる借地料や固定資産税、遊休地の処分に

三村 よる新たな税収を期待するところである。今後も町有地や遊休地を積極的に活用して事業を進めていきたい。

三村 七会診療所の入院棟について伺う。

町長 入院棟については昭和55年に完成し、33年経過している。平成19年3月まで使用したが、現在は検査棟として1階のみを使用している。国庫補助を受けているので、耐用年数39年を過ぎないで

三村 投票所が町13ヶ所に減ったため、高齢者の中には交通手段がなく行けない人もいるのではないかと対策は考えているか。

〈その他の質問〉

- ・桂中学校体育館建設について
- ・ホロルの湯周辺整備について
- ・小中学校の土曜日の授業実施について等

取り壊すと補助金返還が生じるので、当面倉庫として活用したい。

城里町一般選挙における投票率の低下傾向について

〈総務課長〉

若年層の投票率のアップにつながる啓蒙啓発、高齢者が安全に投票ができる環境整備に取り組んでまいりたい。

三村 城里町の一般選挙における投票率が低下しているが、町長の認識は。

総務課長 投票率の低下は、全国的な傾向である。若年層の投票率のアップにつながるような啓蒙啓発に努める。

三村 投票所が町13ヶ所に減ったため、高齢者の中には交通手段がなく行けない人もいるのではないかと対策は考えているか。

〈その他の質問〉

- ・桂中学校体育館建設について
- ・ホロルの湯周辺整備について
- ・小中学校の土曜日の授業実施について等

子どもの内部被曝検査について



ふじさく 藤咲 議員

〈町長〉 現段階において甲状腺検査の必要性はないと考えるが、これからの国の方針に従ってまいりたい。

藤咲 原発事故から3年。たとえ低線量であっても内部被曝によって長期にわたってDNAを破壊し続け、晩発生障害が起こる可能性も高い。特に子どもの検

査が必要と思うが。町長 福島県が実施した検査でも健康に影響する数値は出ておらず、甲状腺検査の必要性はないと考えている。

健康診査の拡充について

〈町長〉 広報やHP等での啓発、パンフレット配布などの方法で、受診率向上を目指す。

藤咲 現在の受検者は半数以下。特定健診の更なる受診率向上の手立ては。

藤咲 胃がん検診は来ているが、避難者から健診の相談は来ていない。

町長 特定健診は県内第2位の受診率だが、特定健診対象外の40歳未満にも受診勧奨を行っていく。

藤咲 原発事故で本町へ来ている方への対応は。

町長 県から依頼

町長 昨年度末、国保加入者70歳までに通知した。

藤咲 きめ細やかに



「がん検診無料クーポン券」

な対応、教育によって乳がんの視触診検査を復活させてはどうか。

町長 マンモグラフィが主。自己検査法の普及も努めた。

藤咲 がん無料クーポン券事業の縮小は受診率アップに逆行すると思うが。

町長 試行的に実施したが、受診率は横ばいなので、今年度は子宮頸がんを21歳、乳がんを41歳に特定した。

防災無線について

〈町長〉 防災無線デジタル化を町に取り入れ、全町一斉放送でやっていきたい。

藤咲 本町は高齢者が多いので防災無線が不可欠だ。故障中で使えない家もあるが。

の全町民への同一情報の一斉放送については検討する。

町長 震災で庁舎が被災したこと

から音声の確に伝達されていない地域が拡大し、ご不便をおかけしている。緊急時



「防災無線」

七会診療所について

〈町長〉 これからも安心して医療を受けられる診療施設を目指す。

藤咲 地域住民に欠かせない施設。住民のニーズに応え、拠点医療機関としての役割を果たせるようにすべきと思うが。

医地区医療の中心的役割を果たしてきた。初期診療所として経営安定化を図りながら施設整備を進めていきたい。

町長 診療所は無

追跡

どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか、追跡調査をした。

高齢者対策について

(平成24年12月定例会)

公民館や集会所で実施している健康教室・ふれあいサロン等に出向けず、家の中だけの生活をしている人に目を向けるべきではないか。また、予算編成で力を入れていただきたい。

質問

防災対策について

(平成24年6月定例会)

防災行政無線の緊急放送の内容を電話で聞くことができる音声自動応答サービス事業の取り組みをしてはどうか。また、避難所に非常用発電機や太陽光発電装置等を整備しては。

元気で生き生きと生活していける社会を作っていかなければならない

もう少し手厚い福祉を実施できるよう、民生委員さんと相談し、施策の中で生かしていきたい。また、事業のスクラップ・アンド・ビルド方式により予算編成を考えている。

答弁

音声自動応答サービスの導入を視野に入れた調査研究を行ってみたい

町民への情報伝達手段として防災設備は重要であり、音声自動応答サービスの導入を視野に入れていきたい。蓄電池を備えた太陽光発電装置を新庁舎建設に合わせて整備する。

現在の状況は、こうなっています

サロンを通じて社会福祉協議会・ボランティア・民生委員などが連携

高齢になっても介護が必要な状態にならないように、歩いて行ける公民館や集落センター等でふれあいサロンを設け、閉じこもりを防いでいる。地域包括センターの職員が、ふれあいサロンへ出向き、健康等に関する情報を発信すると同時に、気がかりな高齢者の情報を収集し、訪問している。平成25年度末現在で47カ所のふれあいサロンが登録され、述べ11,906人が参加している。

防災無線卓整備事業を優先している

平成25・26年度において、常北地区と桂地区にある防災行政無線卓をデジタル化し、建設中の新庁舎に統合する防災無線卓整備事業を優先して実施しており、自動音声応答サービスの導入は、いましばらく時間をいただきたい。蓄電池を備えた太陽光発電装置は、新庁舎に整備する。

編集後記

ついこの間までは無表情だった山々も、いつしかやわらかい新緑につつまれて、水面を渡る風も涼やかに、水田には早苗が植えられ、大地に生命の息吹きが溢れる良い季節となりました。

私たちはこの度の選挙により選出され、各常任委員会が構成されました。私たち7名は議会広報委員会として町民の皆さまと議会を結ぶ大切な役割を担うことになりました。議会だよりを通じて町民の皆さまと共通の意識を持ち、より良い議会だよりを作ります。前号から新たに、今までに各議員が行った一般質問の中から2点を選び、町のその後を通過して町民の皆さまに報告することになりました。今後、も皆さまに読んでいただける議会だよりを目指します。

議会広報委員会

- 委員長 三 蘭
- 副委員長 南 三
- 委員 藤 片 余 関
- 委員 咲 岡 水 條 村 部
- 委員 美 藏 紀 誠 孝
- 委員 美 子 之 夫 郎 治 信 一

蘭部 一 記